

JBC 東京試合役員会会議(ZOOM 使用によるリモート会議) 【議事録】

～全国拡大開催～

2022 年 6 月 2 日 (木)

東京 20:00～21:21

(以下、氏名は五十音順、敬称略)

- ・主催：中村 (東京試合役員会・会長)
- ・議長：飯田 (東京試合役員会・副会長)
- ・書記(ZOOM ホスト)：須藤 (東京試合役員会・会計)

・出席者 (以下 39 名)

JBC 事務局【本部】成富、冨樫、松原、【関西】坂本

【東京試合役員会】飯田、岩本、小野、葛城、篠崎、須藤、高橋、中村、野中、蜂須賀、マーチン、松坂、山岸、吉田 (14 名)

【中部試合役員会】加藤、清水、村瀬 (3 名)

【関西試合役員会】今村、川上、田中新、田中優、隣井、半田、政野、室矢 (8 名)

【西部試合役員会】粟屋、岩崎、恵良、大谷、大藤、謝敷、棚町、野田、姫野、福本 (10 名)

◆20:00 開始

- ・議事開始宣言 (飯田副会長＝議長)
- ・開会挨拶 (中村会長)

◇事務局より (成富 JBC 本部事務局長)

- ・「清算財団」から「一般財団法人」に復帰 (5 月末付) の報告
- ・理事の改選、新規理事として中村勝彦 (JBC 東京試合役員会会長) の就任報告
- ・改めて中村氏から理事就任挨拶

◇試合検証～事前配布画像の視聴による (飯田)

※画像共有 (PowerPoint にて)

事前に配信共有していた動画の検証結果の確認。

各自からの意見を集約、協議。以下について共有事項とした。

- ・ダウン後の反撃があったラウンドの採点について⇒「10-8」か? 「10-9」か? それは何故か? 実例に基づき検証、協議、確認。また、前回からの継続確認として「ダウン (1 回) があったラウンドの採点はルールに則ると (10-8) が基本だが、展開によっては (10-9) もある事例を検証。ダウンの質による加減は発生しない (フラッシュダウンを 10-9 にすることはない)。ダウン以外の攻防を評価することでの加減

(ダウン側の加点による10-9)はある。」という再確認も重ねられた。

- ・ロープダウンの取捨選択⇒様々なロープダウンのシーンを検証、意見交換。
  - ★ロープダウンとは【ダメージを受けロープに凭れた状態となり、もしロープがなければダウンしていたと認められるとき。】でありレフェリーは状況をしっかり見極め判断して欲しい。
  - ★ロープダウンの時は明確に大きくダウンコールをする。『ロープダウン』とコールするのも方法のひとつ。
  - ★スタンディングダウンの採用はない(ストップすべき場面である)。また、前回からの継続確認として「ロープダウン発生時のレフェリーの対応として、ダウン後の加撃が発生しやすいので、攻撃している選手をいかに制止すべきかを念頭に置きたい。立ち位置によってはダウン宣告の発声も重要。」という再確認も重ねられた。
- ・その他アクシデント対応①⇒ダウン後の加撃=きっちりと反則を告げて、休憩と減点(1点ないし2点)を取ること。
- ・その他アクシデント対応②⇒試合中の負傷①“肩の脱臼“=続行不能としてのTKO宣言。その即時の慌てないレフェリーの対応が必要。
- ・その他アクシデント対応③⇒試合中の負傷②“足の負傷(等)“=続行可能か?否か?TKOか?続行か?偶然の負傷か?偶然の反則打か?その即時の慌てないレフェリーの対応が必要。
- ・以上に関して、タイムキーパー、リングアナウンサーへの連携も重要。観客に分かりやすくする意図も意識。ジェスチャー、宣告、発声、明確に分かりやすくすること。(継続確認)

#### ◇その他

- ・「IBF 総会」参加報告(中村)

<会期/場所>

5/24~5/28 アメリカ/カリフォルニア州ロングビーチ

<内容>

全体会議、レフェリーセミナー、ジャッジセミナー、医療講習会、ランキング委員会、ボードメンバーの改選選挙、現元IBF王者を囲んでのパーティ/参加者全員によるディナーパーティ

<セミナー:パワーポイントとビデオを使った講義>

- ① レフェリーセミナー、講師:マーク・ネルソン(米)、中村(日)、他4名。
- ② ジャッジセミナー
- ③ 医療講習。

※総会の壇上に日本人レフェリーが上りスピーチしたという事例は稀少であり名誉なことである。

・質疑・要望等

タオルウェーブ等によるラウンド中の棄権の意思があった場面で、レフェリーが気づけないケースがある。スーパーバイザーからの声による指示も理解しにくいケースもある。即時にストップする必要性から、具体的な方策を講じてもらいたい（中村氏より事務局へ要望事項）⇒スーパーバイザー、ジャッジ3氏の四方に“STOP カード”を持たせて掲示する等の案も出されたが、事務局への検討事項として預けられた。

◆21：21 閉会挨拶（中村）

（21：21 終了）

以上

（次回会議の予定は別途連絡）